【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和5年6月6日(2023.6.6)

【公開番号】特開2021-188678(P2021-188678A)
【公開日】令和3年12月13日(2021.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2021-060
【出願番号】特願2020-94084(P2020-94084)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ 13/62(2006.01)
Ｆ１６Ｄ 13/52(2006.01)
Ｂ２３Ｋ 26/359(2014.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ 13/62 Ｂ
Ｆ１６Ｄ 13/62 Ａ
Ｆ１６Ｄ 13/52 Ｄ
Ｂ２３Ｋ 26/359

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月25日(2023.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
ハウジング１０１の内部には、略円筒状に形成された摩擦板ホルダ１０４がハウジング１０１と同心で配置されている。この摩擦板ホルダ１０４の内周面には、摩擦板ホルダ１０４の軸線方向に沿って多数のスプライン溝が形成されており、同スプライン溝にシャフト１０５がスプライン嵌合している。シャフト１０５は、中空状に形成された軸体であり、一方（図示右側）の端部側がニードルベアリング１０５ａを介して入力ギア１０２およびハウジング１０１を回転自在に支持するとともに、前記スプライン嵌合する摩擦板ホルダ１０４をナット１０５ｂを介して固定的に支持する。すなわち、摩擦板ホルダ１０４は、シャフト１０５とともに一体的に回転する。一方、シャフト１０５における他方（図示左側）の端部は、二輪自動車における図示しない変速機に連結されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
（湿式摩擦プレート２００の構成）
湿式摩擦プレート２００は、詳しくは図２に示すように、平板環状の芯金２０１上に油溝２０３および摩擦材２１０をそれぞれ備えて構成されている。芯金２０１は、湿式摩擦プレート２００の基部となる部材であり、ＳＰＣＣ（冷間圧延鋼板）材からなる薄板材を略環状に打ち抜いて成形されている。この場合、芯金２０１の内周部には、摩擦板ホルダ１０４とスプライン嵌合させるための内歯状のスプライン２０２が形成されている。